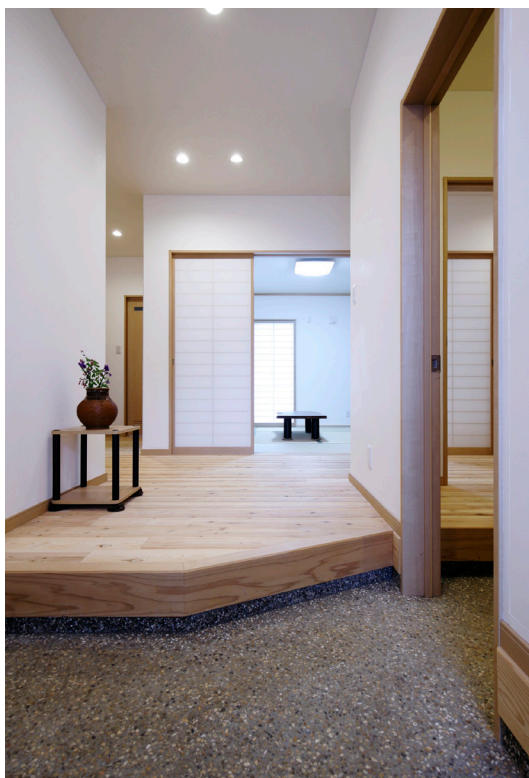




●水平に開いた瓦屋根と小屋根の連なりが美しい入母屋の帆足邸。深い軒に沿って玄関まで続く緩やかなスロープは、駐車スペースから雨に濡れずに移動できるよう配慮された。



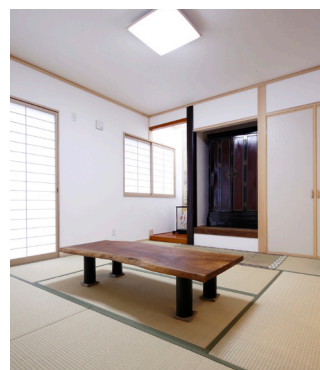
●勾配天井の開放感が広がるLDK。ゆっくりと寛ぐ大空間が生まれた。



●ゆとりを生む玄関ホール。シューズクローゼットへの動線もスムーズ。



●木目が美しい日田杉の床は浮づくり。



●大切なお客様を迎える和のしつらえ。

我が家に笑顔が生まれていました。

端正な入母屋の佇まいが美しい帆足邸は、敷地を有効に活かした平屋づくりの住まい。ご主人の退職を機に建て替えることとなった新居は、「若々しいセンスと日田杉を使ったあたたかい木の家」に惹かれて天領木の家を選びました。

まずは、木の香りが清々しい玄関ホールへ。右手に配したシューズクローゼットには家族専用の上り口を設け、そのまま室内へと足を運べる間取りに。そして注目すべきは、1.2mを超える幅広の廊下。将来、車イスを利用されても移動しやすいゆとりが日頃の暮らしやすさを高めています。また左右に伸びる廊下の中心には仏間を構えた和室があり、すべての引き戸を開け放つと廊下と一体感を生む大きな空間が展開。天井には土佐和紙を、壁には漆喰を使用し、日田杉をふんだんに使った健やかな空間が広がっています。そして生活の中心となるLDKへ。勾配天井を生かした2・7mの天井高と木の美しさをそのままに見せる梁は、帆足邸の大きな魅力。見通しのよい対面式キッチンの背面にはすっきりと収まったキャビネットを配し、キッチンから洗面・浴室、さらにはトイレ、廊下へと繋がる動線がストレスのない生活を支えています。「住み心地は想像以上の大満足！」とご主人。いつまでも安心して暮らせる

木のぬくもりに包まれる
からだにやさしい家づくり

玖珠郡 帆足邸